

マクロ動学モデルにおける2つの遅れ：財政政策ラグと金融政策ラグ

都築栄司

千葉経済大学経済学部*

報告要旨

財政政策のみならず金融政策にも遅れが存在するようなマクロ動学モデルを用いて、それらが経済の安定性に与える影響について数値的に考察した結果を報告する。財政政策ラグの存在を所与としたとき、定常点が局所的に安定であるためには、金融政策ラグがある正の値をとらなければならない場合があることが示される。このことは、中央銀行が「意図的に」政策ラグを設ける必要性のあり得ることを示唆する。また、金融政策ラグの大きさによって、リミットサイクルや2周期解、その他複雑な変動が現れ得ることも示される。

*〒 263-0021 千葉市稲毛区轟町3-59-5, Tel.: +81-43-253-9745 (直通); Fax: +81-43-254-6600;
E-mail: tsuzukie5@gmail.com